

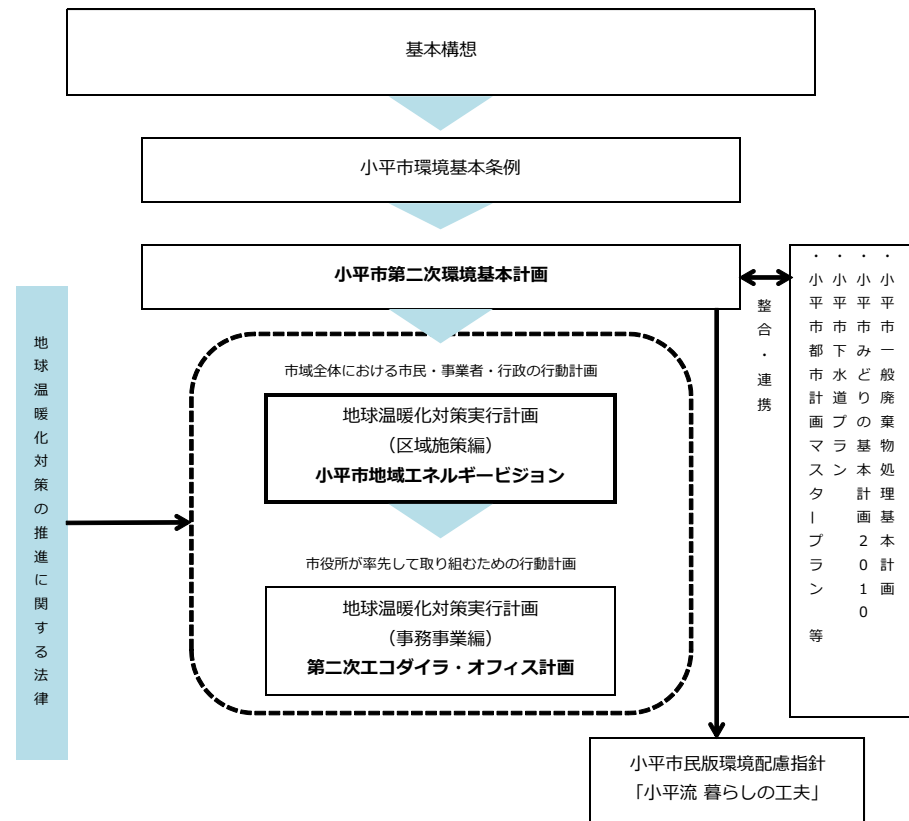
小平市第二次環境基本計画、小平市地域エネルギービジョン及び 第二次エコダイヤ・オフィス計画の令和2年度末実績の概要について

1 計画の概要

(1) 計画の位置づけ

小平市第二次環境基本計画は、小平市環境基本条例第7条に基づき策定したものであり、基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けた部門計画として、総合的・計画的に環境施策の具体的な取組を推進するための計画です。

また、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき策定した小平市地域エネルギービジョン及び第二次エコダイヤ・オフィス計画は、小平市第二次環境基本計画の地球環境分野の基本目標である「地球にやさしい暮らし方をめざすまち こだいら」を推進する個別計画として位置づけています。



(2) 計画期間

各計画の期間は、下表に示すとおりです。

小平市地域エネルギービジョン及び第二次エコダイヤ・オフィス計画に合わせて、小平市第二次環境基本計画の計画期間を1年間前倒しをして令和2年度を最終年度としました。

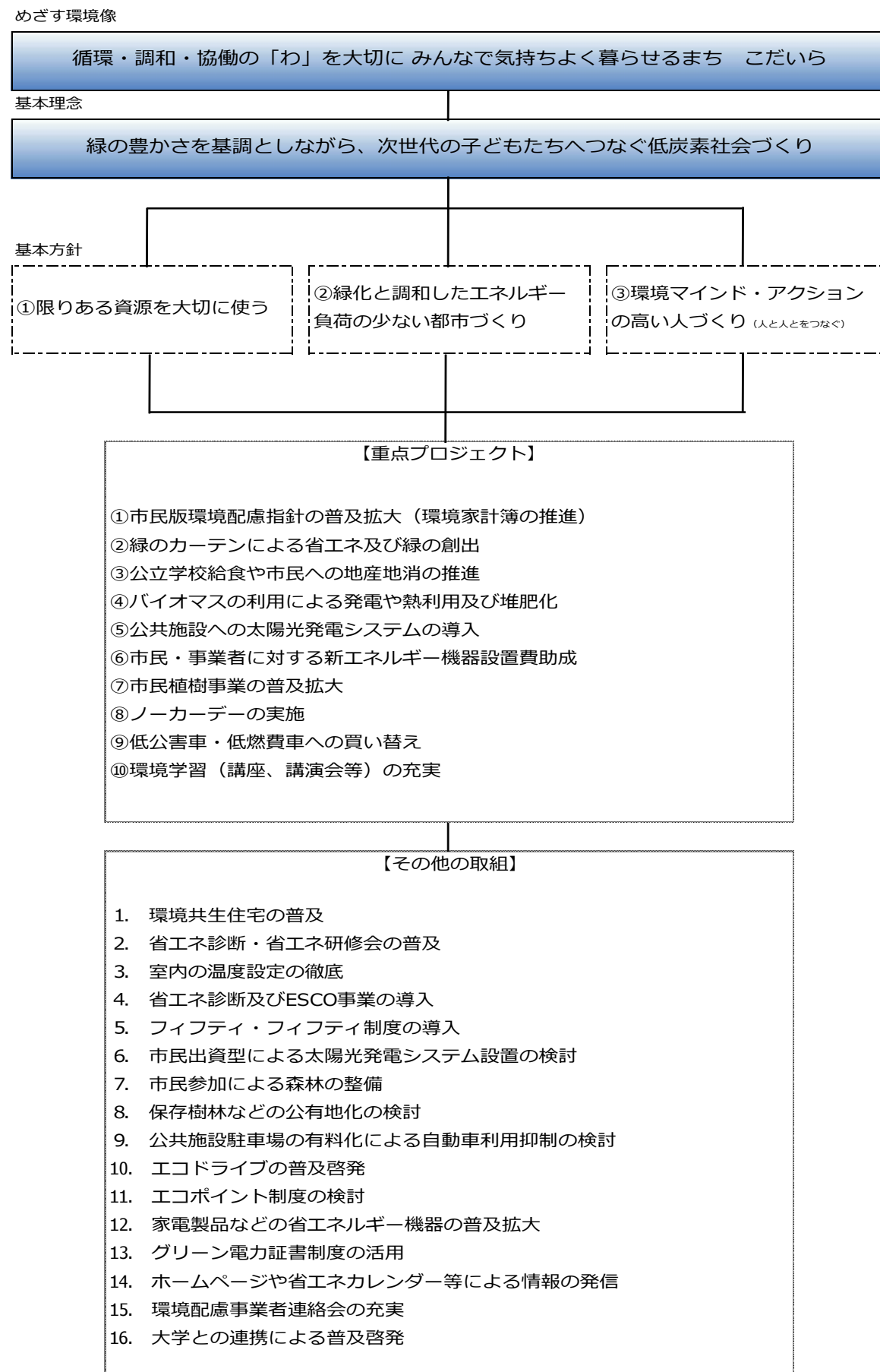
年度	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022
小平市第二次環境基本計画	H24 (2012) ~ R3 (2021)										小平市第三次環境基本計画策定
小平市地域エネルギービジョン	H21 (2009) ~ R2 (2020)									中間見直し	
第二次エコダイヤ・オフィス計画	H22 (2010) ~ R2 (2020)										

(3) 施策の体系

小平市第二次環境基本計画では、5つの分野における基本目標に対し142の取組を進めました。

めざす環境像【循環・調和・協働の「わ」を大切に みんなで気持ちよく暮らせるまち こだいら】			
基本目標	施策の方向	環境施策	取組数
I【地球環境】 地球にやさしい暮らし方をめざすまち こだいら	1 低炭素社会の形成	省エネルギーの推進 新エネルギーの導入促進 環境に配慮した自動車利用の促進	6 3 5
	2 循環型社会の形成	廃棄物の減量 廃棄物の適正な処理の推進	13 4
II【自然環境】 水と緑を守り自然と調和したまち こだいら	1 水辺環境の整備	用水路の保全・整備	4
	2 緑の保全・回復・創出	緑のネットワークの形成 民有地の緑化	7 3
		公共施設の緑化 農地の保全と活用 公園・緑地の整備	2 7 4
3 生き物との共生	生き物の生息空間の保全・創出	8	
III【都市環境】 安全で快適な環境を実現するまち こだいら	1 安全な都市空間の整備	道路ネットワークの整備の推進 歩行者空間の整備 防災対策の推進	1 6 5
	2 美しいまちの創造	景観の保全・形成 環境美化の推進	3 9
	3 環境に配慮したまちづくりの推進	都市整備における環境配慮 公共交通機関の利用促進 水循環の促進	5 2 4
IV【生活環境】 健康で安心して暮らせるまち こだいら	1 公害対策	都市型公害対策の推進 環境中の放射性物質に関する状況把握と適正な対処	6 1
	2 生活環境の保全	生活型公害・苦情等対策の推進	5
	3 化学物質対策	化学物質対策の推進	3
V【参加と協働】 みんなが環境について考え、行動するまち こだいら	1 環境教育・環境学習の充実	学校における環境教育・環境学習の充実 あらゆる主体・世代に対する環境学習の充実	4 9
	2 市民・事業者・民間団体・市のパートナーシップの形成	環境保全活動の推進 パートナーシップの形成と連携の充実	5 5
	3 環境に関する情報の充実	環境情報の収集と提供の充実	3
合計			142

小平市地域エネルギービジョンでは、10の重点プロジェクトと16のその他の取組により市全体のエネルギー消費量の削減を図りました。



第二次エコダイラ・オフィス計画では、7項目に沿った取組により、市の事務事業における二酸化炭素排出量の削減を図りました。

①省エネルギーの推進

具体的取組事例
昼休み、離席時には消灯を徹底する。
残業時は、照明の点灯は必要最小限度にする。
トイレ・給湯室等の照明は退室時に消灯する。

②新エネルギーの推進

取組事例
太陽光発電等自然エネルギーや未利用エネルギーの導入を推進する。
コージェネレーションシステム等エネルギー高効率利用が図れる設備の導入、改修を検討する。

③環境に配慮した公共施設の整備

取組事例
建設廃棄物の分別、再資源化を推進する。
建築物の修繕や解体においては、フロンや代替フロン、アスベスト等の適正回収・処理に努める。
森林資源の保全のため、型枠工事における新工法、新材料の採用を推進する。

④環境に配慮した自動車の利用

取組事例
自転車を優先的に利用する。
ノーカーデーを徹底する。
公共交通機関を優先的に利用する。

⑤廃棄物の発生抑制

取組事例
使用可能な備品類等は、「リユースシステム」を活用し、他課での再使用を図る。
購入した物品の長期使用に心がける。
不要品を廃棄する前に、他の活用方法等を検討する。

⑥グリーン調達（環境に配慮した製品の利用促進）

取組事例
代替手段があるかどうか検討する。
必要なものを必要数だけ購入するよう計画する。
常時使用しないものは、他課などから借用できないか検討する。

⑦環境に配慮する意識の高い職員の養成

取組事例
環境に関する研修を実施するとともに、体系化を検討する。
コンピュータネットワークとグループウェアを活用し、エコオフィスの取組事例や環境に関する情報等の提供、啓発を行う。
一斉清掃の分別立会いを通じて分別の徹底化を図る。

2 令和2年度末実績の概要

(1) 小平市第二次環境基本計画（令和2年度末実績）（資料1-② P3～6）

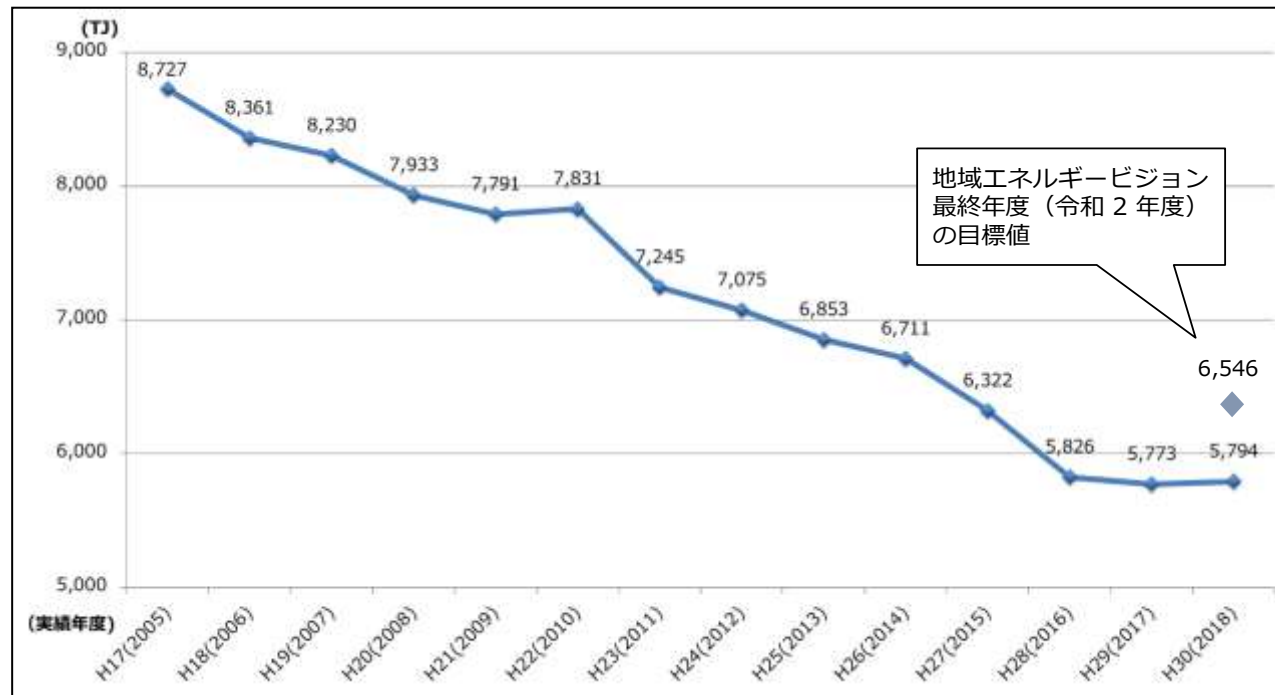
重点施策1 「太陽光発電設備などの新エネルギー機器設置費用の助成の継続」		環境政策課																														
<p>■取組内容</p> <p>太陽光発電設備、家庭用燃料電池（エネファーム）設置者に対し、設置費用の一部を助成しました。</p> <p>■新エネルギー機器設置費用の助成実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光発電システム</td> <td>54件</td> <td>56件</td> <td>53件</td> <td rowspan="3">※小平市地域エネルギービジョン 中間見直し（令和2年度末実績） （資料1-③ P9 今後の方向性等） 参照</td> </tr> <tr> <td>エネファーム</td> <td>154件</td> <td>145件</td> <td>135件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208件</td> <td>201件</td> <td>188件</td> </tr> </tbody> </table> <p>■数値目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>目標年度</th> <th>目標数値</th> <th>令和2年度実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民・事業所等への太陽光発電システム機器設置費用の助成件数</td> <td>令和3年度</td> <td>累計2,000件</td> <td>累計1,328件</td> <td>66.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■今後の方向性</p> <p>市民・事業者に対して、太陽光発電システム及びエネファームのほか、新たに蓄電池や断熱窓を設置する際にも費用の一部を助成することでその設置を推進し、家庭部門・業務部門でのエネルギー消費量の削減を図ります。</p>						平成30年度	令和元年度	令和2年度		太陽光発電システム	54件	56件	53件	※小平市地域エネルギービジョン 中間見直し（令和2年度末実績） （資料1-③ P9 今後の方向性等） 参照	エネファーム	154件	145件	135件	合計	208件	201件	188件	内容	目標年度	目標数値	令和2年度実績	達成率	市民・事業所等への太陽光発電システム機器設置費用の助成件数	令和3年度	累計2,000件	累計1,328件	66.4%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																													
太陽光発電システム	54件	56件	53件	※小平市地域エネルギービジョン 中間見直し（令和2年度末実績） （資料1-③ P9 今後の方向性等） 参照																												
エネファーム	154件	145件	135件																													
合計	208件	201件	188件																													
内容	目標年度	目標数値	令和2年度実績	達成率																												
市民・事業所等への太陽光発電システム機器設置費用の助成件数	令和3年度	累計2,000件	累計1,328件	66.4%																												
重点施策2 「自転車専用レーンの設置及び拡大の検討」		交通対策課																														
<p>■取組内容</p> <p>あかしあ通りの小平駅南口交差点から仲町交差点までの自転車走行空間（延長591.3メートル、幅1.5メートル）の延伸について、関係機関との協議を検討中です。自転車ナビマークの整備については、交通管理者と連携しながら整備を進めました。</p> <p>■自転車ナビマーク整備距離（総延長）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,050m（40,250m）</td> <td>5,240m（45,490m）</td> <td>990m（46,480m）</td> </tr> </tbody> </table> <p>■今後の方向性</p> <p>自転車専用レーンについては、様々な課題から実施が困難な状況ですが、これに代わるものとして、自転車ナビマークの整備の推進などにより、自転車利用を促進し、自動車による二酸化炭素排出量を削減します。</p>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	3,050m（40,250m）	5,240m（45,490m）	990m（46,480m）																						
平成30年度	令和元年度	令和2年度																														
3,050m（40,250m）	5,240m（45,490m）	990m（46,480m）																														
重点施策3 「環境家計簿の普及を図るなど、家庭における省エネルギーの取組を促進」		環境政策課																														
<p>■取組内容</p> <p>市民団体エコダイラネットワークと協働して、環境フォーラム等の各種イベントでアプリ版環境家計簿を中心に利用を呼び掛けるとともに、市報、市ホームページ等で周知し、普及啓発に努めました。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響による在宅時間の増加を契機に、家庭での電気・ガス等の使い方の見直しを促進するため、5月、10月、10～12月を対象期間とし、昨年同月と比較して電気・ガスの使用量削減を目指す「チャレンジ省エネ2020」を開催しました。</p> <p>■環境家計簿参加者実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人世帯</td> <td>1,721世帯</td> <td>1,999世帯</td> <td>2,261世帯</td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>11事業所</td> <td>11事業所</td> <td>13事業所</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,732件</td> <td>2,010件</td> <td>2,274件</td> </tr> </tbody> </table> <p>■数値目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>目標年度</th> <th>目標数値</th> <th>令和2年度実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境家計簿の利用件数</td> <td>令和3年度</td> <td>1,000件/年</td> <td>2,274件/年</td> <td>227.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■今後の方向性</p> <p>各種イベントや市報、市ホームページ等により、環境家計簿の普及啓発に努め、様々な世代による参加者の拡大を図ることで、市民一人ひとりの省エネ行動の「深化」を促します。環境家計簿の活用によって自らのライフスタイル、ビジネススタイルを再点検し、家庭生活及び事業活動に伴って生じる二酸化炭素排出量の削減につなげます。</p>						平成30年度	令和元年度	令和2年度	個人世帯	1,721世帯	1,999世帯	2,261世帯	事業所	11事業所	11事業所	13事業所	合計	1,732件	2,010件	2,274件	内容	目標年度	目標数値	令和2年度実績	達成率	環境家計簿の利用件数	令和3年度	1,000件/年	2,274件/年	227.4%		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																													
個人世帯	1,721世帯	1,999世帯	2,261世帯																													
事業所	11事業所	11事業所	13事業所																													
合計	1,732件	2,010件	2,274件																													
内容	目標年度	目標数値	令和2年度実績	達成率																												
環境家計簿の利用件数	令和3年度	1,000件/年	2,274件/年	227.4%																												

重点施策4 「市民ボランティアによる花いっぱい運動の推進」		水と緑と公園課																		
<p>■取組内容</p> <p>市内における花いっぱい運動のさらなる普及と、市民の緑化意識の向上を図るとともに、市民が主体となった“緑豊かなまちづくり”を推進することを目的として「こだいら花いっぱいプロジェクト」を実施しました。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、小平駅南口ロータリー秋の花植えを少数のボランティアと実施した他は、花いっぱいプロジェクトとしての活動を中止しました。（職員による花植えは実施）</p> <p>■こだいら花いっぱいプロジェクト活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動回数</td> <td>10回</td> <td>10回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>380名</td> <td>370名</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>植栽数</td> <td>13,620苗</td> <td>12,380苗</td> <td>13,780苗※</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※別途職員により実施した植栽数を含む</p> <p>■今後の方向性</p> <p>市民、企業、団体との協力関係を維持し、「こだいら花いっぱいプロジェクト」を継続することで、市民一人ひとりの緑化意識の向上を図ります。</p>						平成30年度	令和元年度	令和2年度	活動回数	10回	10回	1回	参加者数	380名	370名	16名	植栽数	13,620苗	12,380苗	13,780苗※
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																	
活動回数	10回	10回	1回																	
参加者数	380名	370名	16名																	
植栽数	13,620苗	12,380苗	13,780苗※																	
重点施策5 「小平グリーンロードを南北に繋ぐ新たなみどりの骨格づくり」		水と緑と公園課 道路課																		
<p>■取組内容</p> <p>あかしあ通りグリーンロード化基本計画に基づき、小平駅南口ロータリー植栽部の花苗の植替えを2回（春、秋）行いました。また、あかしあ通りに植栽されているニセアカシアのうち、老朽化が著しいもの、根上がりの原因となっているもの及び台風の影響により倒木・幹折れした5本について、陽光桜に植え替えました。</p> <p>■今後の方向性</p> <p>引き続き、小平駅南口ロータリー植栽部の花苗の植替えを行うとともに、あかしあ通りの街路樹に関する基本的な考え方にに基づき、街路樹の検討及び整備を推進し、みどりの創出に努めます。</p>																				
重点施策6 「動植物の生態調査の実施」		水と緑と公園課 環境政策課																		
<p>■取組内容</p> <p>市民が自宅の庭先やマンションのベランダなどで、生き物の新たな生息空間を作り出す身近なビオトープづくりを推進するため、平成29年度及び平成30年度に公募市民等による観察モニターへ小鳥などが好む苗木を配布し、令和元年度まで実施した観察の結果などを掲載した「身近なビオトープづくり 小鳥の観察モニター編」を作成し、市内の公共施設等で配布しました。</p> <p>狭山・境緑道及びたけのこ公園にて自然観察会を開催し、生き物の生息状況を報告書としてまとめ、市ホームページで公表しました。</p> <p>■身近なビオトープづくり参加実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>苗配布数</td> <td>80株</td> <td>0株※</td> <td>0株</td> </tr> <tr> <td>観察モニター報告数</td> <td>20件</td> <td>0件※</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和元年度を観察期間、令和2年度を報告期間としたため、配布数及び報告数が0となっている。</p> <p>■今後の方向性</p> <p>これまで進めてきた「森のカルテづくり」、「身近なビオトープづくり」、「市民参加型生き物調査」については、実施手法等の改善や見直しを行い、第三次みどりの基本計画における取組に活かします。</p>						平成30年度	令和元年度	令和2年度	苗配布数	80株	0株※	0株	観察モニター報告数	20件	0件※	7件				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																	
苗配布数	80株	0株※	0株																	
観察モニター報告数	20件	0件※	7件																	

(2) 小平市地域エネルギービジョン（令和2年度末実績）

①市のエネルギー消費量の推移（資料1-③ P2）

最新の集計結果である平成30年度の市のエネルギー消費量は5,794テラジュールで、基準年度である平成17年度と比較して33.6%減少し、最終年度（令和2年度）の目標を達成することができました。



(出典：オール東京 62 市区町村共同事業資料)

②重点プロジェクトの評価（資料1-③ P4）

目標を大幅に達成したプロジェクト（=A）は5つ、目標どおり達成したプロジェクト（=B）は無し、目標を達成できなかったプロジェクト（=C）は5つと評価しました。

プロジェクト名	成果指標	R2 目標値	R2 実績値	実績/目標	評価※
①市民版環境配慮指針の普及拡大	WEB・アプリ版環境家計簿の参加世帯（事業所）数（累計）	922 件	2,274 件	246.6%	A
②緑のカーテンによる省エネ及び緑の創出	公共施設における緑のカーテン設置数	60 施設	67 施設	111.7%	A
③公立学校給食や市民への地産地消の推進	小学校給食における地場産農産物の納入率	25.0%	30.1%	120.4%	A
④バイオマスの利用による発電や熱利用及び堆肥化	食物資源循環事業における参加世帯数	1,000 世帯	1,246 世帯	124.6%	A
⑤公共施設への太陽光発電システムの導入	公共施設への太陽光発電システム設置数（累計）	50 施設	39 施設	78.0%	C
⑥市民・事業者に対する新エネルギー機器設置費助成	市民・事業者への太陽光発電システム助成件数（累計）	1,845 件	1,328 件	72.0%	C
⑦市民植樹事業の普及拡大	苗木の配布数	1,100 本	0 本	0%	C※
⑧ノーカーデーの実施	冬期自動車使用抑制期間中のノーカーデーにおける庁用車使用回数	657 回（以下）	499 回	76.0%	A
⑨低公害車・低燃費車への買い替え	庁用車の低公害車・低燃費車の導入率	97.0%	93.2%	96.1%	C
⑩環境学習（講座、講演会等）の充実	環境学習（講座、講演会等）の参加者数	1,100 名	688 名	62.5%	C※

※令和2年度目標値に対し、5%を上回った取組をA、+5%以内の取組をB、未達成となった取組をCと評価（「C※」は、例年目標を達成していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で未達成となったもの）

(3) 第二次エコダイラ・オフィス計画（令和2年度末実績）

①施設ごとの二酸化炭素削減状況（資料1-④ P2）

市の施設における二酸化炭素排出量の令和2年度実績は684万957kg-CO₂で、基準年度である平成17年度と比較して16.9%減少しました。

施設名称等	平成17年度 (基準年度)	令和2年度 実績	削減量 (R2-H17)	削減率 (R2-H17)	令和2年度 (最終目標)	
庁舎	690,510	560,305	△ 130,205	△ 18.9%	基準年度比 -25%	
地域センター	338,183	229,187	△ 108,996	△ 32.2%		
小平元気村おがわ東	76,319	88,000	11,681	15.3%		
市民文化会館	960,089	561,143	△ 398,946	△ 41.6%		
保育園	317,623	357,618	39,995	12.6%		
健康福祉事務センター	56,736	53,386	△ 3,350	△ 5.9%		
福祉会館	187,186	191,985	4,799	2.6%		
健康センター	89,445	61,785	△ 27,660	△ 30.9%		
公共下水道管理センター	92,522	41,832	△ 50,690	△ 54.8%		
小学校	2,133,280	2,054,114	△ 79,166	△ 3.7%		
中学校	610,419	736,675	126,256	20.7%		
学校給食センター	385,465	384,209	△ 1,256	△ 0.3%		
市民総合体育館	595,834	321,842	△ 273,992	△ 46.0%		
公民館	295,123	182,382	△ 112,741	△ 38.2%		
図書館	600,837	437,878	△ 162,959	△ 27.1%		
その他施設※	609,788	528,946	△ 80,842	△ 13.2%		
庁用車						
ガソリン	176,914	43,948	△ 132,966	△ 75.1%		
軽油	11,043	5,722	△ 5,321	△ 48.2%		
合計	8,227,316	6,840,957	△ 1,386,359	△ 16.9%		

②二酸化炭素排出量の推移（資料1-④ P8）

計画期間である平成22年度以降、平成23年度には最大の減少率となった後、横ばい傾向で推移していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により施設を閉鎖したこともあり大幅に減少しました。令和2年度は前年度と比較すると、二酸化炭素排出量が515,446kg-CO₂減少しました。

	二酸化炭素 排出量 (kg-CO ₂)	対基準年度比 増減率	対前年度比 増減率
平成17年度(基準年度)	8,227,316	—	—
令和2年度(最終目標)	6,161,756	—	—
平成22年度	8,200,654	△0.3%	—
平成23年度	7,077,935	△14.0%	△13.7%
平成24年度	7,176,155	△12.8%	1.4%
平成25年度	7,319,114	△11.0%	2.0%
平成26年度	7,191,846	△12.6%	△1.7%
平成27年度	7,159,251	△13.0%	△0.4%
平成28年度	7,410,221	△9.9%	3.5%
平成29年度	7,561,541	△8.1%	2.0%
平成30年度	7,401,376	△10.0%	△2.1%
令和元年度	7,356,403	△10.6%	△0.6%
令和2年度	6,840,957	△16.9%	△7.0%